



立野

練馬区立立野小学校

平成26年 11月号

<http://www.tateno-e.nerima-ky.ed.jp>

“ 体育的活動の充実を目指して ”

副校長 加納 聖一

10月4日に実施いたしました運動会には、大勢の皆様にご参観いただき、精一杯がんばる立野小の子どもたちに、大きな声援と激励をいただきました。誠にありがとうございました。

季節の移ろいは早く、まもなく霜月(11月)を迎えます。朝夕の寒さもだんだんに厳しくなって、秋も終わろうとしていることを感じさせます。屋外が寒くなってくると、子どもたちはだんだんに外遊びに消極的になってくる傾向がありますが、本校の子どもたちにはたくさん体を動かして、元気に毎日を過ごして欲しいと願っています。

本校では6月に、「東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」を行いました。この調査は、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げの8つの種目について体力測定を行うもので、本校の子どもたち個々の体力・運動能力の実態と、その結果から区・東京都・全国と比較をした立野小の子どもたちの傾向が分かります。この結果を基に、本校の子どもたちの運動能力の特徴を捉え、子どもたちが均衡のとれた体力・運動能力を身に付けられるように体育的な活動を工夫していきます。

はじめに、全校・都・区と比べてよく身に付いている能力です。比較的に関能力の高い種目には「上体起こし・反復横とび・立ち幅とび」がありました。本校の子どもたちは、俊敏性や瞬発力(跳ぶ力)を身に付けていることが分かります。この中には、10ポイント近く高いものもありました。日常の遊びの中で自然に培ってきた結果だと考えられます。休み時間での鬼ごっこや縄跳びなどが体力向上に繋がっています。

次に、全校・都・区と比べやや劣っており、これからも養っていききたい能力です。ポイントの低い種目には「20mシャトルラン・ソフトボール投げ」がありました。持久力や投げる力を養う運動(スポーツ)をいろいろな場で体験させていかなければならないという課題です。

体育の学習では、年間を通していろいろな運動に親しむよう計画されていますが、学習時間に限りがあります。そこで、体力の向上を目指し、本校では休み時間は体を動かす大切な時間と位置づけ「外遊び」を励行しています。また、12月の持久走大会に向け、11月は体育の時間や休み時間に長い距離を走る取り組みを行います。1月中旬からは縄跳びチャレンジ月間として、体育時や休み時間に縄跳びを取り入れ体力の向上を図っていきます。

各学級では、担任が休み時間のクラス遊びを子どもたちと相談して取り組んだり、子どもたちと外で一緒に遊んだりしながら子どもたちの遊びを支えています。

今後も子どもたちの体力向上に向けて充実した学習や活動を行って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。